



六小だより

令和3年4月28日
東久留米市立第六小学校
5月号
校長 内田 かほ里

TEL 042-471-5370 【学校HP】 <http://members2.jcom.home.ne.jp/dai6-e/>

子供に指導をする基準

校長 内田 かほ里

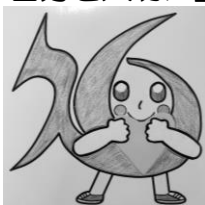
新学期が始まり約1か月が経とうとしています。

朝、正門のところ立っていると、子供たちは、元気に挨拶をしたり、「校長先生。」と言って、前日にあったことを話してくれたり、何だか元気がないな、何かあったのかなと思うこともあり声をかけたりと、毎日、発見。子供たちから学ぶことが多いです。1年生の「園長先生、さようなら。」もご愛嬌。

1学年進級するだけで、顔つきも動きも変わってきます。6年生が最高学年として、学校の仕事をすすんで行き、下級生のために頑張っています。毎朝、1年生のお手伝いを生き生きと行っている6年生の顔は輝いています。なんと素敵なことでしょうか。6年生が輝いている学校は素敵な学校に間違いありません。

さて、子供たちにやってはいけないことを指導するとき、「こんな時は指導しますよ。」ということのをどのように伝えたらよいか考え、ろくくんの絵をつかって『学校生活で大切なこと』として、1学期最初の全校朝会で話をしました。

①「自分を大切に」



私たちの命は1つしかありません。一度なくすと元にはもどりません。せっかく生まれてきたのですから、自分の命を大切に生きてください。

そして、自分の命を大切にすることは、他の人の命を大切にすることにつながります。自分も他の人も大切にできると良いと思います。

②「友達を大切に」



他の人に言ってはいけないこと、してはならないことがあります。自分は人を傷つけるつもりではなくても、知らないうちに傷つけていることがあります。具体的にどんなことがあるのか、クラスでも話し合ってください。

そして、もし、他の人を傷つけてしまった時には、相手から学ぶことが大切です。失敗から学びましょう。

③「みんなを大切に」



自分ではおもしろいと思ってやっていることも、周りの人には迷惑だという事があります。でも、どんなことが迷惑なのか具体的にわかりません。

どうしたら良いかというと、「自分がやられて嫌だと思ったことは他の人にやらない」ことだと私は考えています。

この3つの観点、生命尊重、人権尊重、社会性の育成に関わることは、第六小教職員全員一致で指導するよう努力していきます。ご家庭でも、この3つに関わるものが起きたら、学校と同じように指導していただけるとありがたいです。

合言葉は、「笑顔かがやく六小の子 みんなで育てる六小の子 みんなが育つ第六小学校」です。